

道路事業

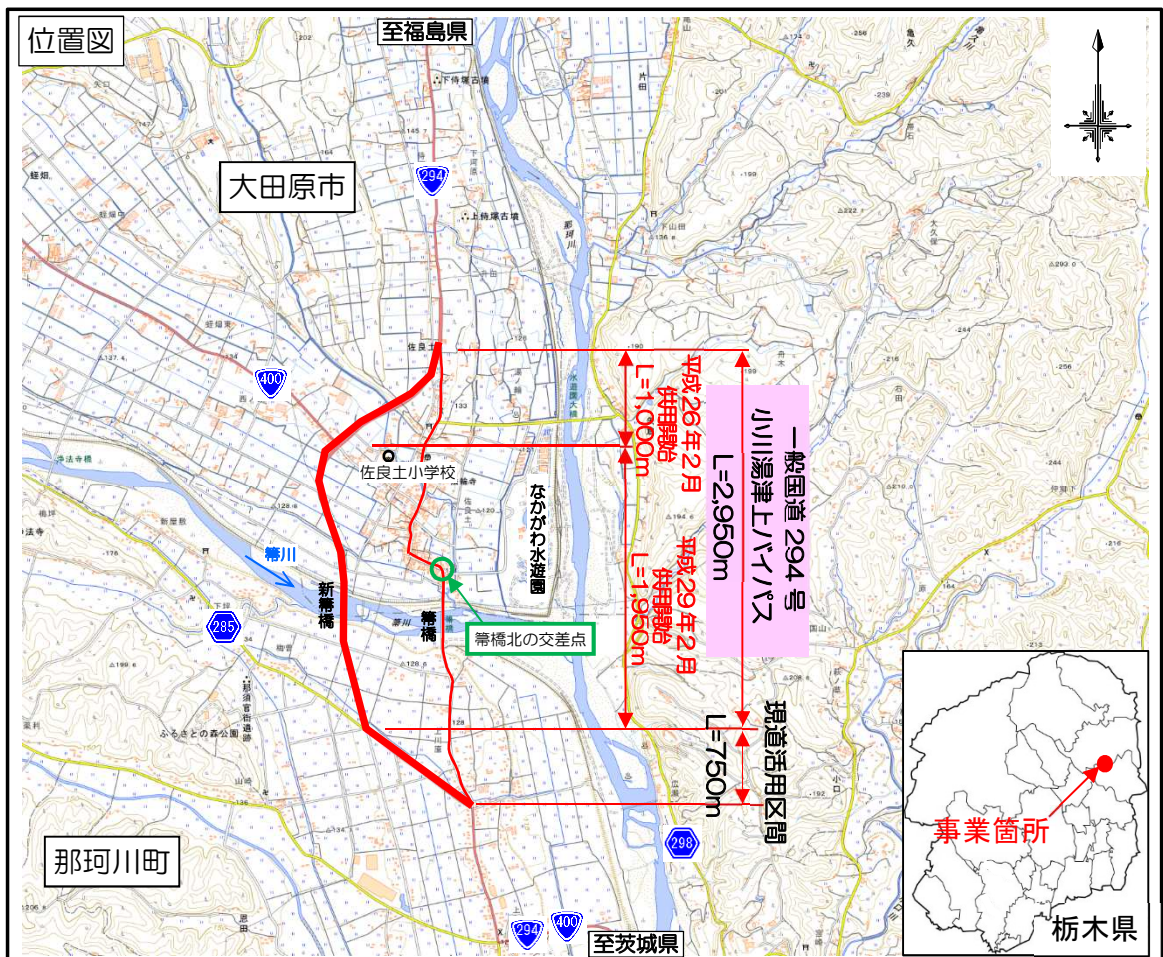
一般国道 294 号 おがわゆづかみ 小川湯津上バイパス 〔平成 29 (2017) 年 2 月 供用〕

1 事業概要

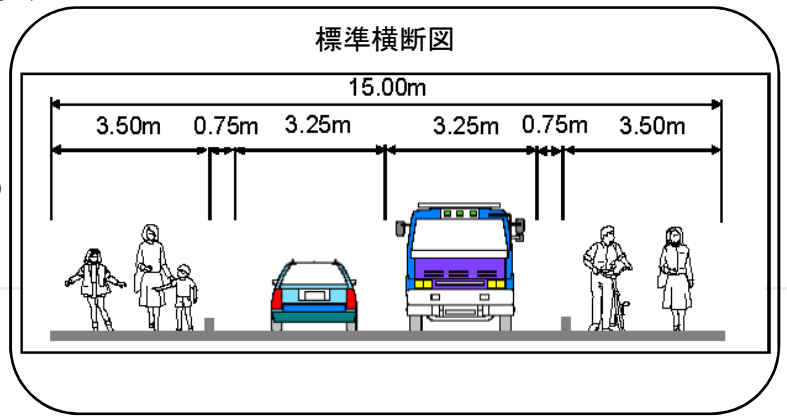
一般国道 294 号は、千葉県柏市を起点に栃木県東部地域を縦断して福島県会津若松市に至る延長約 264km の幹線道路であり、八溝地域の観光振興や経済活動を支えるとともに、第 2 次緊急輸送道路として市町村役場や主要な防災拠点等への連絡機能を有する道路である。

しかし、那珂川町小川から大田原市佐良土までの区間においては、道路線形が屈曲しているため、安全で円滑な通行に支障を来しており、特に観光シーズンや休日においては、近隣のながわ水遊園を訪れる観光交通により、渋滞が発生していた。

このため、栃木県では当該区間を迂回するバイパス道路を平成 29 年 2 月までに整備し、地域の安全・安心や円滑な通行の確保に加え、緊急輸送道路としての機能強化を図ったものである。



- ◆事業名：快適で安全な道づくり事業
- ◆事業主体：栃木県
- ◆事業箇所：一般国道 294 号
小川湯津上バイパス
(那珂川町おがわ小川さくらと)
～大田原市おがわ佐良土)
- ◆事業延長：2,950m
- ◆幅員：15.0m (2車線)
- ◆総事業費：約 33.5 億円
- ◆事業期間：平成 12 年度
～平成 28 年度



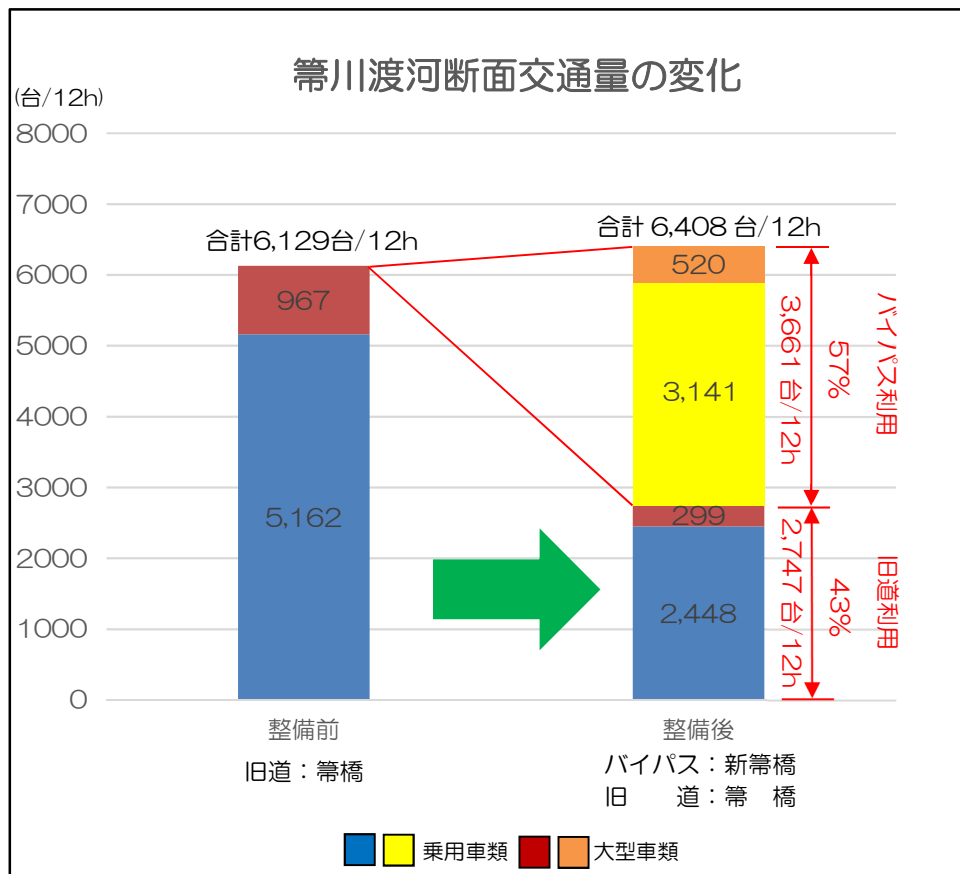
2 事業の目的・必要性

- ①交通安全の確保
- ②円滑な通行の確保
- ③観光シーズンや休日における渋滞解消
- ④緊急輸送道路の機能強化

3 事業の整備効果等

①交通安全の確保

線形不良区間を迂回する道路ネットワークを確保することで、市街地内へ流入する通過交通を低減させた。これにより、交通事故件数が減少し、地域における安全・安心を確保することができた。



○交通事故件数の変化

(整備前) 1.6 件/年 ⇒ (整備後：バイパス) 0.7 件/年
(整備後：旧道) 0.3 件/年

○利用者アンケートの結果より

- ・旧道と比較したバイパスの安全性について：安全だと感じている人の割合 78%
- ・バイパス整備後の旧道の安全性について：
安全になったと感じている人の割合 56%

②円滑な通行の確保

線形不良区間を迂回する道路ネットワークを確保することで、バイパス及び旧道の旅行速度が増加し、当該区間の走行性を向上させることができた。

○混雑時の平均旅行速度の変化

(整備前) 29.5km/h ⇒ (整備後：バイパス) 47.1km/h (60%増)
(整備後：旧道) 35.8km/h (21%増)

○利用者アンケートの結果より

- ・バイパスの利用による移動時間について：短くなったと感じている人の割合 71%

③観光シーズンや休日における渋滞解消

整備前の旧道では、度々、渋滞が発生していたが、バイパス道路を整備することで、交通の分散化が図られ、渋滞発生を大幅に緩和することができた。



整備前：旧道渋滞



整備後：バイパス交通

○渋滞長の変化（箒橋北の交差点：北進方向）

(整備前：休日) 2,700m ⇒ (整備後) 0m
(整備前：平日) 100m

○利用者アンケートの結果より

- ・バイパス整備後の旧道の混雑状況について：
混まなくなったと感じている人の割合:65%

④緊急輸送道路の機能強化

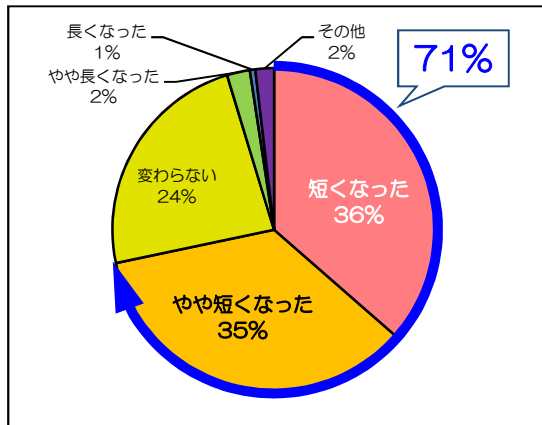
人家が連担し、電柱が林立している市街地を迂回するバイパス道路を整備することで、緊急輸送道路としての機能を強化させることができた。

4 地元の声（アンケート結果）

本事業の整備効果を検証するため、地域住民やなかがわ水遊園利用者、まほろばの湯利用者、周辺企業等にアンケート調査を実施した。

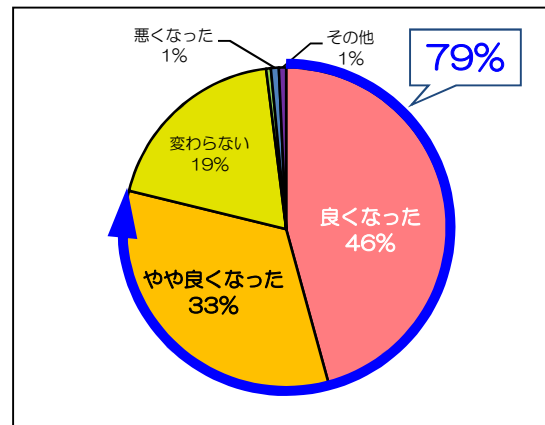
（回数 1,337 件 / 配布数 1,632 件：回収率 81.9 % ※有効回答数は設問により異なる）

(1)バイパス利用による移動時間について



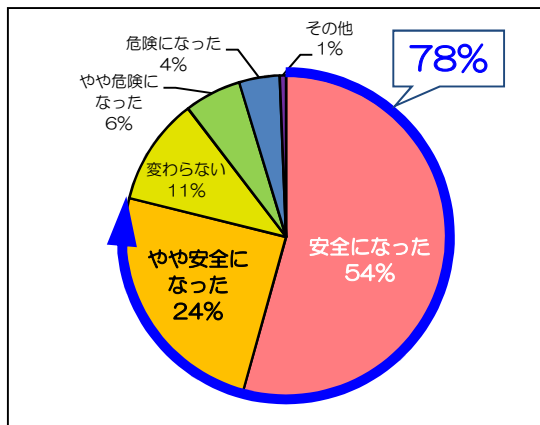
71%の方が、短くなったと感じている。

(2)バイパス利用による利便性について



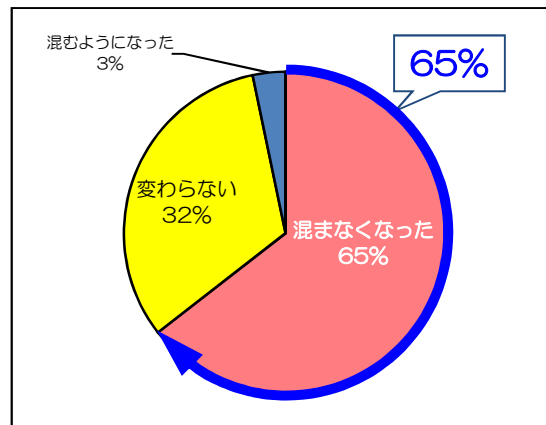
79%の方が、良くなったと感じている。

(3)旧道と比較したバイパスの安全性について



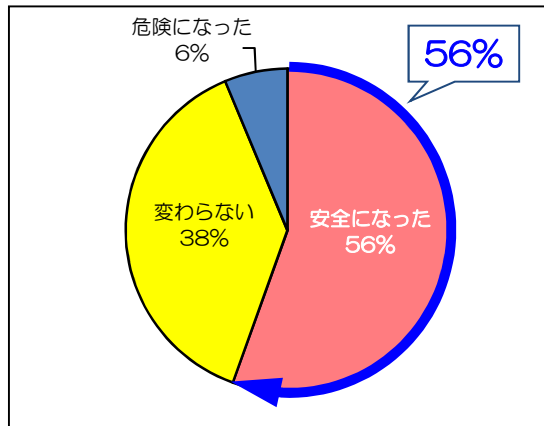
78%の方が、安全だと感じている。

(4)バイパス整備後の旧道の混雑状況について



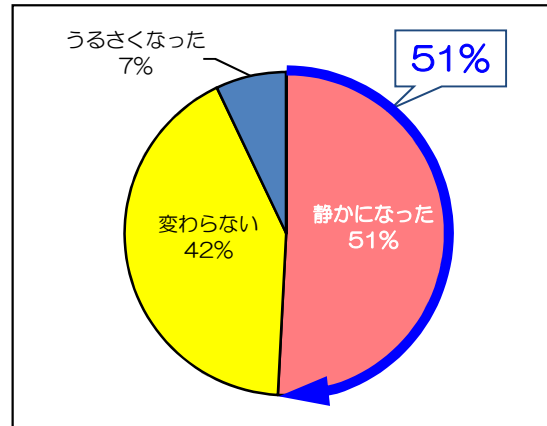
65%の方が混まなくなったと感じている。

(5) バイパス整備後の旧道の安全性について



56%の方が、安全になったと感じている。

(6) バイパス整備後の旧道の沿道環境について



51%の方が、静かになったと感じている。

(7) 自由意見

- ◇ バイパス開通により安全に走れるようになり、時間も短縮されました。
- ◇ バイパスが開通してから渋滞しなくなった。
- ◇ 旧道を通る大型車がなくなり静かになった。
- ◆ スピードが出ている車両が多くなった。(速度超過の車両が多い)

5 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

本事業により、「①交通安全の確保、②円滑な通行の確保、③観光シーズンや休日における渋滞解消、④緊急輸送道路の機能強化」といった整備効果を確認することができた。また、地域の道路利用者アンケート調査の結果からも事業の目的を達成する効果を確認できた。

なお、アンケート調査の結果から、道路が広くなったことに伴い速度超過をする車両が見られるとの意見があったことから、交通管理者と調整し、より安全な道路空間の創出に取り組む。

6 同種事業への反映

本事業においては、大田原市佐良土地区に残されている「佐良土屋号宿」を迂回するバイパスを整備することで、歴史的な街並みを保存しつつ、宿内の旧道を含め交通安全や円滑な通行の確保など、事業目的の達成を図ることができた。

今後も同種事業を実施する際には、道路の安全性や快適性に加えて、地域の特性等を考慮しながら適切な整備手法を選択し、限られた予算の中で早期に事業効果を発現できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2412 FAX : 028-623-2417
 H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
 E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

